

# 平成25年度 事業報告書

自 平成25年4月 1日  
至 平成26年3月31日

## 1. 総会の開催

臨時総会	平成25年6月	<ul style="list-style-type: none"><li>・「平成24年度の事業報告・同収支決算」の承認について文書による持ち回り決議を行った。</li><li>・この結果、過半数の賛成により承認された。(会員総数34、“賛”=29、“否”=0)</li></ul>
通常総会	平成26年2月21日	<ul style="list-style-type: none"><li>・主に平成26年度事業計画・収支予算の承認および全国地域活動連絡協議会規約等の改正</li><li>・東京都港区「南青山会館」</li></ul>

## 2. 通常理事会の開催

第1回	平成25年6月	<ul style="list-style-type: none"><li>・主に平成24年度の事業報告・収支決算の承認</li><li>・捧梅子、高木美恵子両監事による監査(6月14日)</li><li>・文書による持ち回り決議の結果、過半数の同意 [“賛”=10名 “否”=0名]</li></ul>
第2回	平成25年11月11日 ～12日	<ul style="list-style-type: none"><li>・主に平成26年度事業計画・収支予算の承認および全国地域活動連絡協議会規約等の改正</li><li>・東京都渋谷区「こどもの城」</li></ul>
第3回	平成26年2月21日	<ul style="list-style-type: none"><li>・通常総会に付議すべき案件の審議</li><li>・東京都港区「南青山会館」</li></ul>

## 3. ブロック会長会議の開催

各地域活動連絡協議会(以下、各地協)および単位母親クラブからの意見を集約して全国各地域活動連絡協議会(以下、全地協)の活動に反映するため、ブロック毎に会長会議を開催した。

北海道・東北ブロック	10月21日	ブロック研修会(滝川市)に合わせて開催
関東・甲信越ブロック	10月20日	
東海・近畿・北陸ブロック	文書による意見収集	台風のため2度会議中止
中国・四国ブロック	10月13日	倉敷市にて開催
九州ブロック	9月8日	ブロック研修会(広島市)に合わせて開催

#### 4. 全国会長会議の開催

平成26年2月20日	東京都港区「南青山会館」
------------	--------------

#### 5. 第27回全地協表彰の実施

各地協から推薦があった個人34名、団体13団体について、平成26年2月21日の全国大会席上で表彰式を執り行なった。

第1～27回の表彰者累計は個人1,143名、団体748団体となった。

#### 6. 全国大会・ブロック別研修会の開催

(1) 一般財団法人こども未来財団および財団法人児童健全育成推進財団より助成を受け、主管各地協の協力により開催した。なお、今年度は各主管地協が主催としてこども未来財団へ助成申請することとなった。

(2) 石川県と広島市は「安心こども基金」を活用した。

(3) 全国大会

全地協の通常総会、全国会長会議等と同時開催とする。

東京都	平成26年2月21日(金)・22日(土)
-----	----------------------

【主催】厚生労働省、(一財)こども未来財団、(財)児童健全育成推進財団、全地協

【後援】東京都

(4) ブロック別研修会

北海道・東北／関東・甲信越ブロック	北海道地協 滝川市	10月21日 22日	160名 75名
東海・近畿・北陸ブロック	石川県地協 加賀市	11月14日 15日	140名 120名
中国・四国／九州ブロック	広島市地協 広島市	9月 7日 8日	250名 150名

【主催】厚生労働省、(一財)こども未来財団、(財)児童健全育成推進財団、全地協

#### 7. 各地協の研修費用助成

(1) 児童健全育成推進財団より新たな助成を受けて、各地協が実施する研修に対して1地協10万円を限度に助成した。

(2) 今年度活用した地協は26地協であった。

#### 8. 平成25年度全地協統一推進事業

(1) 7月を「公園の安全月間」として、「遊び場遊具点検(第11回)」および「公園の防犯点検(第8回)」を全国一斉実施した。

点検票の回答があったのは551クラブで、「遊び場遊具点検」公園数は1,062か所(昨年は1,146か所)、また、「公園の防犯点検」は881か所(昨年は989か所)であった。

(2) 「児童虐待予防」を全地協の統一事業と位置付けし、沢崎俊之埼玉大学教授にご指導を受けて実施した。

① 各ブロックより1名の検討委員を選任し平成25年7月23日に検討委員会を開催した。

検討委員は以下のとおり。(敬称略)

委員長	埼玉大学 教育学部 教育心理カウンセリング講座 教授	沢崎 俊之
委員	北海道・東北ブロック 仙台市地域子育て支援クラブ連絡協議会会長	子山 早知子
//	関東・甲信越ブロック 栃木県地域活動連絡協議会 会長	上岡 恵子
//	東海・近畿・北陸ブロック 石川県地域活動連絡協議会 会長	奥野 美彌子
//	中国・四国ブロック 広島市地域活動連絡協議会 会長	佐々木 洋子
//	九州ブロック 宮崎県地域活動連絡協議会 会長	高山 文子
//	児童健全育成推進財団 理事	興津 哲哉

② 「家族の間で感じた喜び、希望、悩み、不満等」を「心のつぶやき」として公募することとし、8月に各单位クラブへ案内した。

③ 「心のつぶやき」の意義を下記のとおり明確にした。

児童虐待の発生要因 : 虐待の発生に影響する要因 ⇒ リスク因子(危険因子)  
虐待の発生を防止するように働く要因 ⇒ 補償因子

「心のつぶやき」は、この「補償因子」を補強し、心理的安定を促して、虐待予防を図ろうとするものです。

「心のつぶやき」を作成し応募することは、自分自身の感情を素直に、自由に表現して、お互いに感情を分かち合いたいという、つまり「共感・同感」を求める行為といえます。また、応募された「心のつぶやき」を読むことにより「共感・同感」する可能性は大いにあります。

この「共感・同感」が、虐待の補償因子を補強するものと考えます。

④ 1月末時点で23地協より398件(昨年は178件)の応募があった。

なお、原則として全件をホームページに掲載した。

④ 2月22日の全国大会において、沢崎先生より上記メッセージ内容を分析した結果を報告していただき、合わせて投稿例を発表した。

## 9. 全地協組織の現況

(1) 新会員として「みらい子育てネットさがみはら連絡協議会(西谷八千代 会長)」が加盟し、会員数は34となった。(28都道府県・5指定都市・1中核市)

(2) 各地協傘下の単位クラブ数は1,650クラブ(昨年は1,970クラブ)、その会員数は63,465名(昨年は81,465名)であった。

## 10. 広報・情報発信

### (1) 通信委員ならびにブログ委員の選任

各ブロックより1名の通信委員および各地協からブログ委員を選任した。

通信委員は以下のとおり。 (敬称略)

竹内 峰子	北海道・東北ブロック	特定非営利活動法人みらい子育て ネット山形 会長
大川原 さとみ	関東・甲信越ブロック	みらい子育てネット・新潟 会長
加藤 愛子	東海・近畿・北陸ブロック	愛知県地域活動連絡協議会 会長
吉田 しをり	中国・四国ブロック	岡山県地域活動連絡協議会 会長
富吉 恵美	九州ブロック	佐賀県地域活動連絡協議会 会長

### (2) 通信委員会議の開催

平成25年10月9日に開催し、広報活動や情報発信ツールの活用について討議した。  
特に、ブログへの投稿を積極的に進めることとした。

### (3) 機関誌「みらい子育てネットだより」26号を5月中に作成し、各都道県・市単位母親 クラブ、行政機関、関係団体等に配布する。

## 11. 地域活動総合保険「みらい」について普及促進を図った。

(1) 今年度加入クラブ数は929クラブ（昨年度は992クラブ）であった。

(2) 平成23年度と同様の割合で保険事務取扱費用を還元し1月31日に各地協へ配分した。

## 12. 各種運動・行事への協力等

春・秋の全国交通安全運動ほか、行政や他団体の行事・地域行事に協力参加した。

### (1) 主な協力事業・行事

- ① 身近な子育て応援活動の推進 (こども未来財団)
- ② 児童福祉週間 (厚生労働省、全国社会福祉協議会、こども未来財団)
- ③ 厚生労働省児童虐待防止対策協議会
- ④ 共同募金運動 (中央共同募金会)
- ⑤ 「社会を明るくする運動」 (法務省)

### (2) 主な協賛事業・行事

- ① 春・秋の全国交通安全運動 (内閣府、警察庁、厚生労働省ほか)
- ② 道路ふれあい月間 (国土交通省)